



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。



まだまだ草とのたたかいは続きます

急な斜面での草刈りは重労働。でも年々立派に咲くヤマユリは、雑木林管理班にとっても励みになります。畑のこんじゃくは雑草と紛らわしいので、目印の棒を立てるなどの工夫も欠かせません。さて今年の収穫はいかに？

8/4 土手の草刈り

谷戸往来

鎌倉高校ボランティア活動
受け入れ 7/21(日)
梅雨明け前の蒸し暑い日に、4名の生徒が田の草取りに参加してくれました。まじめに、楽しく手を動かしていました。若い力で作業がはかどりました。

子ども里山体験 7/25(木)
子どもたちの感想より★火の番や竹で空気をおくって火をつけるのが楽しかった(小5)★いろいろな友だちができてうれしかったです(小3)★できたてのごはんがとてもおいしかったです(小3)

教員補助作業
深沢小 8/26(月)
深沢小、富士塚小の先生方と生徒たちで小段谷戸の草刈りをしました。

福島の子どものための保養支援「第9回かまくらあそび楽宿」(7/28(日)～31(水)開催)に、今年も当会の備品を貸し出しました。鎌倉の子どものたちと交流し、海遊び・すいか割り・花火などを楽しんで元気に帰っていきました。



●谷戸のカメは3種類

田んぼに棲みついているクサガメ、管理棟の近くの池にいるミドリガメ（ミシシippアカミガメ）、お隣の台峯緑地の「谷戸の池」でわずかながら記録されているイシガメの3種類がいます。ミドリガメはペットで輸入されたものが野生化して問題になっています。最近、クサガメは江戸時代以降に日本に広がったという説が有力で、日本古来の種はイシガメではないかといわれています。

●田んぼの人気者 クサガメ

野生のカメを見たことがある人は少ないと思います。神社や池のカメは放されたものが多いので、鎌倉で野生のカメが見られるのは谷戸だけではないでしょうか。田んぼの作業中にクサガメを見つけて感激した人もいるでしょう。田んぼの泥に幅広い溝ができていたらクサガメの歩いた跡です。昼間は泥の中にもぐっているようですが、夕方、薄暗くなると、田んぼに首を突っ込みながら歩き回り、餌を探している様子を見かけることがあります。警戒心が強く、カメとは思えない素早い動きで泥にもぐって隠れます。

●野生化したミドリガメの脅威

ペットとしてアメリカから輸入されたミドリガメは、ミシシippアカミガメの子どもです。肉食性が強いそうで、クサガメなどの子どもを食べてしまい、他のカメと共存してくれないようです。管理棟の近くの池はもちろん、市内の八幡宮の池でも、ミドリガメばかりが増えてしまいました。八幡宮では池の掃除の時、駆除したそうです。田んぼ近くでも時々見つかりますが、見つけ次第捕獲する必要があります。

●田んぼと畑を往来するクサガメ

田んぼで暮らしているクサガメは、畑で卵を産んでいることがわかってきました。カメのためにも、田んぼだけではなく、田んぼを取り巻く畑や草地の維持が大切なことがわかります。各班の活動が知らず知らずのうちに谷戸の生きものを育てているのです。



「谷戸の生きもの」はホームページで連載中です

体験学習

(深沢小5・田植え) 初めて田植えをしました。はじめは「またカエルがいるのかー、いやだなー、手がよごれるしー、はー・・・」と思っていたけれど、やってるうちにテンションも上がってきて、みんなとやっていると楽しいなーと思いました。

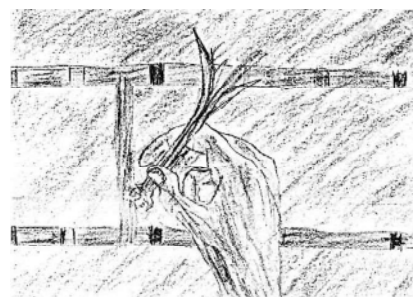
(深沢小5・田植え) 終わった後に本田を見に行きました。上から見るとすごいきれいで、全部田の形がちがいました。

(富士塚小5・田の草取り) ホタルの紙しばいをやってもらい、ホタルの生きられるかんきょうや、田んぼの大切さも



(富士塚小5・田の草取り)

(御成中 1)自然を保つにはそれなりのちゃんとした環境が必要で、そのためには細かい手入れが必要になります。私は1日だけ体験させてもらったけれど、とても大変でした。



(深沢小5・田植え)

(教育支援教室ひだまり中3) 草刈りが楽しかったです。ストレス解消になりました。小麦の選別が思った以上に楽しくて、ずっとやっていたかったです。天気もすごくよくて、動いて気分がよかったです。

体験学習予定
 深沢小学校5年 10/4
 富士塚小学校5年 10/3
 教育支援教室ひだまり 10/29

田んぼ班

長い梅雨が明けたと思ったら、連日の猛暑で田んぼが干上がり、ひやひやしました。10月の稲刈りに向け、厳しい日差しの下、子どもたちが作ったかかしに見守られながら、田の草取りや畔の草刈りに汗を流しました。



 8/11 畔の草刈り


雑木林管理班

今年は梅雨明けが少し遅くなりましたが、雑草は例年通りに元気に成長し、我々も同様に草刈りに奮闘しています。9月になると稲刈りとはさ掛けに備え、田んぼ周辺の草刈りを行う予定です。

自然遊び班

実りの季節に備え、里山探検隊でかかしを作りました。谷戸の竹と古着を再利用し、頼もしいかかしが何体もできました。大事なお米を刈り取りまで見守っています。苗床の片付けや畑の耕しも行いました。



 7/10 さつまいものつる返し

畑班

長梅雨・日照不足、その後は猛暑・雨不足と畑には厳しい天候でしたが、若いメンバーの加入で畑の手入れは順調です。9月以降は、大根やかぶ・冬菜の種蒔き、さつまいも掘りの作業が続きます。

農芸班

幼い日の記憶に、草花遊びの思い出はあるでしょうか。生活感覚が変化した現代でも、山あいの暮らしには生活を彩る行事や遊びが残っています。麦わらを使って「しおり作り」を楽しみます。


植物育成班

クズの除去は、ツルを切らないように主根を見つけて掘り起こさないと根絶できません。そのままにしておくと植生も変わる勢いです。グリーンモンスターと呼ばれるだけのことはあり厄介です。

生態系保全班

(公財)鎌倉市公園協会の野外生活体験広場の水路整備が終了したので、調査をしながら保全活動のよりよい方法を見つけたいと思います。手入れ後はホトケドジョウの稚魚が多く観察でき、手ごたえを感じました。



 8/14 水路の手入れ